

ITC実践力ガイドラインの改定について

特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会

IT経営研究所

2012/08/24

ITコーディネータはIT経営を実現するプロフェッショナルです

今回、「ITC実践力ガイドライン」を改訂いたしました。
改定のポイントは以下の通りです。

1. マネジメントシステムの変化への対応

ーイノベーション、グローバル化、ビジネスモデル創成、事業創造の追加

2. ITC人材像の再定義

ー経営とITの融合を強調

3. ITCの専門性の強調

ーIT経営の実現と、幅の広さと総合性を強調

4. 実践力スキル要素の拡大

ーイノベーションスキル要素の追加

5. その他

1. マネジメントシステムの変化への対応

■社会価値創造のためのIT化への対応

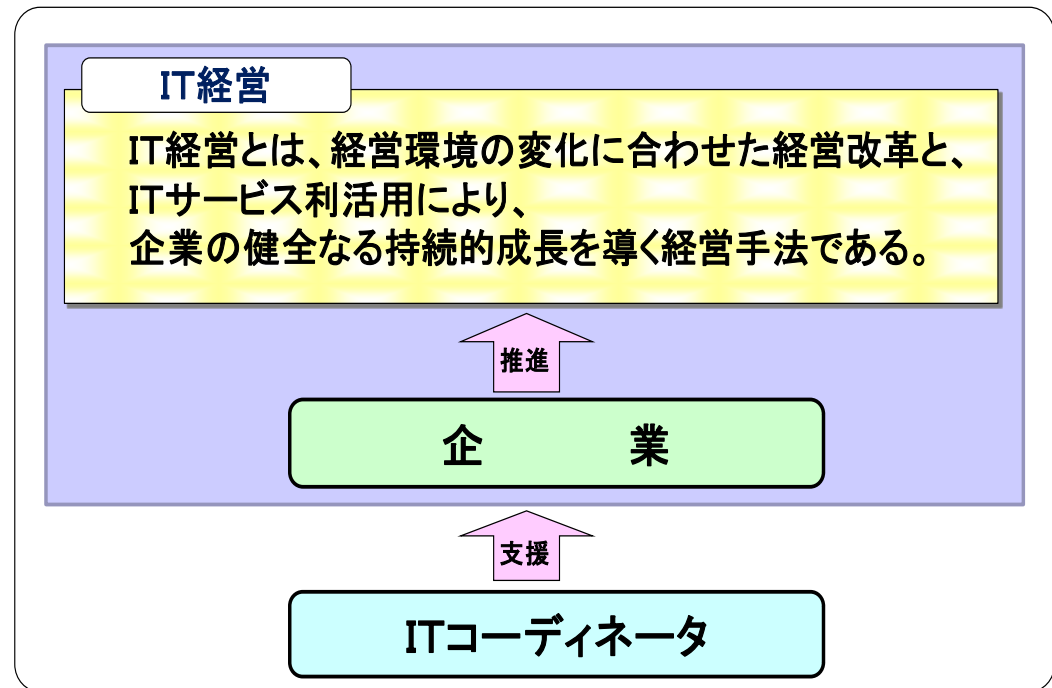
イノベーション、グローバル化、新しいビジネスモデルの導入、事業創造などが、新しい社会価値を創ることを明確にした。

⇒「IT経営」から「IT融合」時代への流れに対応した。

■IT経営の定義

「経営戦略と統合したITの活用」から**右図に変更**し、「経営（目標）との整合」が重要であることを強調した。

⇒戦略の前に、経営者の思いを共有することが大切であり、IT経営認識プロセスを追加していることに合わせた。

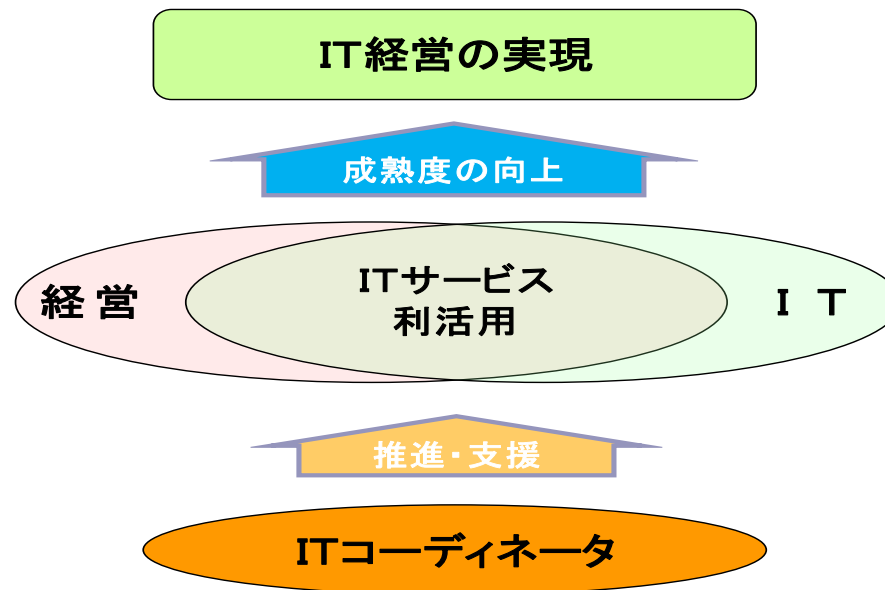


2. ITC人材像の再定義

■ 経営とITの融合

ITCの役割は、単に経営とITの橋渡し(経営とITの離れたものを繋ぐ)を行うのではなく、経営とITを融合させる(一体で扱うもの)ことを、**下図を追加して強調した。**

ITCは、経営者の立場に立って、経営とITを融合し、真に経営に役立つITサービス利活用の推進・支援を行い、IT経営を実現するプロフェッショナルである。



3. ITCの専門性の強調

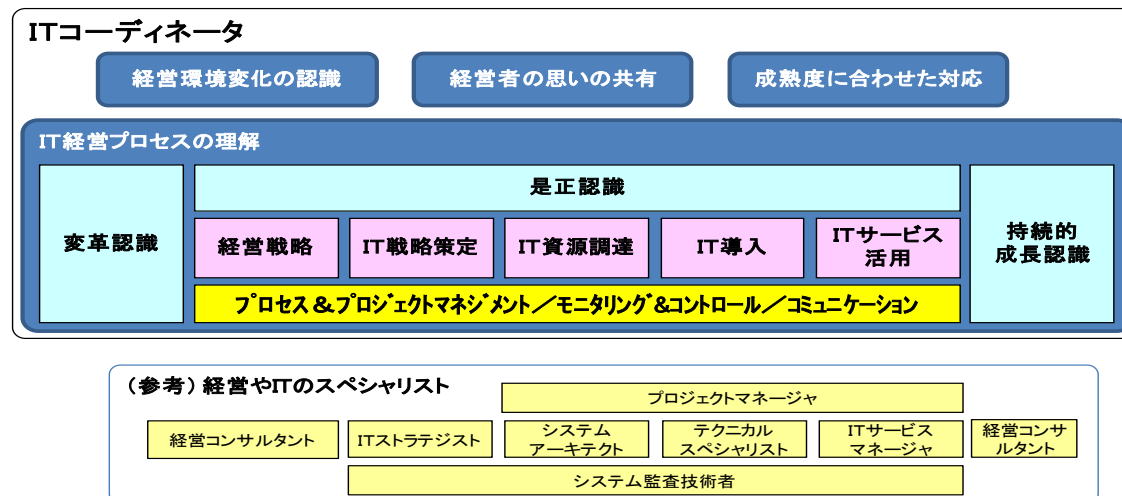
■IT経営の専門知識

IT経営の概念、IT経営における判断基準(基本原則)と実行基準(IT経営プロセス)を知っていることが専門知識のベースであることを説明。

■IT経営の実現、幅の広さと総合性

ITCの専門性は、IT経営プロセスを理解したうえで、変革を認識し、経営者の思いを共有し、成熟度に応じたIT経営を実現することにあることを、**下図を追加して説明。**

⇒他のスペシャリストとは、幅の広さと総合性が違うことを強調した。



4. 実践力スキル要素の拡大

■イノベーションスキル要素を追加

ITCが、新しいビジネスモデル、事業創造を起こすようなイノベーション能力として、5つのスキル要素を「意識知」に追加した。

好奇心、探究心、多様性、柔軟性、ホスピタリティ

⇒Ver.1.0でも、創造性、仮説提案力、グローバル志向などは、スキル要素として入っている。

⇒ITCのスキルを活かすとう変わるという例を示すため、右表を追加した。

立場、職種	局面	これまで	ITCになってから
営業	営業先 ヒアリング 提案の仕方	情報システム部門に行く システム上の問題を 聞こうとする 難しい問題はコンサル やSEに提案を書 かせる	業務部門の長に会いに行く 業務上の問題を聞く 自分で提案書を書く
コンサルタント	コンサルティング	相手が気づいていない ことを見つけ、斬 新な提案をしようと する	相手の気づいていないことを引き 出し、課題を整理する
ITストラテジ スト	要件の確認	与えられた要件が何 かを聞こうとする	なぜその要件が出てきたかの経営 課題を聞く
PM	仕事の進め方	QCTを守ろうとす る	PMO機能を果たし、顧客とって の目的を外さないようにする
ITサービスマ ネージャ	営業するとき	他社にない機能・非 機能要件と、いかに 安い運用が提供でき るかを説明しようと する コストパフォーマンスで売る	ITサービスの位置づけを示し、いかに 経営に役立つか、BCP、内部 統制などは、経営の投資として説 明する
SE	パッケージのフィット&ギ ャップ分析	現状業務に合うよう に、パッケージのカ スタマイズをしよう とする	業務のあるべき姿を描いて、業務 改善・改革の支援を行なう
CE	メンテに行くとき	頼まれたことだけや って帰ってくる 新製品の機能説明を する	なぜこの機器が必要だったか、そ の業務上の必要性を聞く 新しいビジネスモデルやネットワ ーク活用の事例を説明する
中小ITベン ダーの経営者	ユーザー企業のトップと面 談のとき	何でもやります、シ ステムでお困りのこ とは何でしょうかと 聞く	これからどのような会社になりたい か、経営課題を聞く
大手ユーザー企 業のIS担当	IT戦略企画	何をIT化するかを 聞こうとする これまでの経験と、 同業他社の実態を調 べながら考える	経営の目的と現状分析から、戦略 策定に必要な手順を踏む 経営に対して提言を行う

5. その他

■実践力体系開発の経緯は削除

本ガイドラインVer.1.0では、なぜ「ITC実践力体系」を開発したかの説明が随所に入っていたが、Ver.2.0では削除した。

■目次の再構成

IT経営の重要性から、ITCに求められる能力が導かれるように、目次を再構成した。

■PGL Ver.2.0との同期化

内容的に、ITCプロセスガイドライン(PGL) Ver.2.0と、本ガイドライン Ver.2.0との同期を取った。



**ITコーディネータはIT経営を実現する
プロフェッショナルです**